

News Release

2025年4月22日
一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

「JEMA-GX レポート 2024」を公開

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)は、カーボンニュートラルを始めとする持続可能な社会に至るための社会構造の大きな転換期において、電機産業の現状を把握しつつ、果たすべき役割と貢献し得る機会を探り、社会に対して広く発信していくことが重要であるとの認識から、2050年カーボンニュートラル実現への重要なマイルストーンである2030年に向けて、電機業界のグリーントランスフォーメーション(GX)、特に脱炭素に向けての取組みを継続的にレビューし、企業努力を対外的にも説明していくため、第2版となる「JEMA-GX レポート 2024」を制作、公開しましたのでご案内します。併せて、レポート報告会を5月23日(金)14:30~16:30に開催します。

1. 調査項目の概要と分析方法

以下①~③の項目(KPI)について、当会会員の対象企業にグローバル・グループ連結ベースで調査を実施しました。

脱炭素経営については2024年度時点での状況を示すほか、GHG 排出量・エネルギー消費量・電化・再エネ化の状況については2020年度を基準に、2020~2023年度のデータを基に経年の増減状況および売上高の推移と照らし合わせたデカップリングの動向も分析しています。

- ①脱炭素経営: 目標設定やイニシアティブへの参加状況等(2024年度調査時点)
- ②GHG 排出量: Scope1、2、3 排出量の実績、削減率(2020年度~2023年度データ)
- ③エネルギー消費量: 燃料・電力消費量の実績、削減率、電化率、電力の再エネ化(2020年度~2023年度データ)

2. 調査対象企業と市場規模(2023年度)

- ・JEMA 会員企業のうち、連結グループベース 61 社(個社ベースでは 83 社)。
- ・調査対象企業の 2023 年度売上高は 72.5 兆円(開示企業の合計値)と、2020 年度比で 27.2%増加(2022 年度比で 2.4%増加)。

3. 調査結果概要(トピック)

■ GHG Scope1、2 排出量(2023 年度)→別紙図1参照

- ・Scope1、2 排出量合計(Scope1、2を開示している会員企業の排出量)は1,625万t-CO₂eと、2020年度比 25.3%削減(2022年度比 13.0%削減)。うち約7割はScope2由来による。

■ 原単位(GHG Scope1、2 排出量/売上高)の改善率(2023 年度)

- ・2020年度比 37.0%改善(回答企業の平均)。9割以上の企業が改善を示す。

- GHG Scope1、2 排出量削減率／売上高増加率との相関(2023 年度)→別紙図 2 参照
 - ・36 社(約 7 割)が売上高の増加に対し Scope1、2 排出削減を達成。昨年調査時の 26 社から増加し、業界全体としてデカップリングが進展。
- GHG Scope1、2 排出量削減率／設定目標の年削減率との相関(2023 年度)→別紙図 3 参照
 - ・23 社(約 5 割)が中期目標の単年度削減率／オントラック以上の成果を達成、目標に向けて着実に進行。達成企業数も昨年調査時 19 社から増加。
- エネルギー消費量の状況(2023 年度)
 - ・総エネルギー消費量は 54,156GWh、2020 年度比 10.2%削減(2022 年度比 5.0%削減)。
 - ・うち燃料消費量は 20,196GWh、電力消費量は 33,960GWh と、電力消費量が総エネルギー消費量に占める割合(電化率)は 62.7%。
 - ・電力消費量に占める再エネ由来電力量と割合は 7,401GWh、21.8%と、2020 年度比で約 6 倍に拡大(2022 年度比 1.4 倍)。
- GHG 削減目標の設定状況
 - ・SBT 認定を取得している企業は 21 社(Near-term21 社、Long-term3 社、Net-Zero3 社)と、調査対象企業の約 3 割。昨年調査時の 18 社から増加し、かつネットゼロ目標などより高い目標を設定。
- 削減貢献量の算定、開示状況
 - ・削減貢献量の算定、開示を行っている企業は 18 社と、調査対象企業の約 3 割。JEMA は政府 GX リーグとも協調・連携の下、電気電子製品、IoT サービスの削減貢献量算定の IEC 国際規格 63372 の開発を国際幹事として主導し、2025 年に発行予定。

その他詳細はエグゼクティブサマリー、レポート本編をご参照ください。

→[JEMA GX レポート 2024 掲載サイトへ](#)

4. レポート報告会開催

レポート公開に伴い、企業、メディアの方を対象としてレポート報告会並びにパネルディスカッションを開催します。

■「JEMA-GX レポート 2024 報告会～グローバルイシューと電機業界の貢献～」

・日時 2025 年 5 月 23 日(金)14:30～16:30

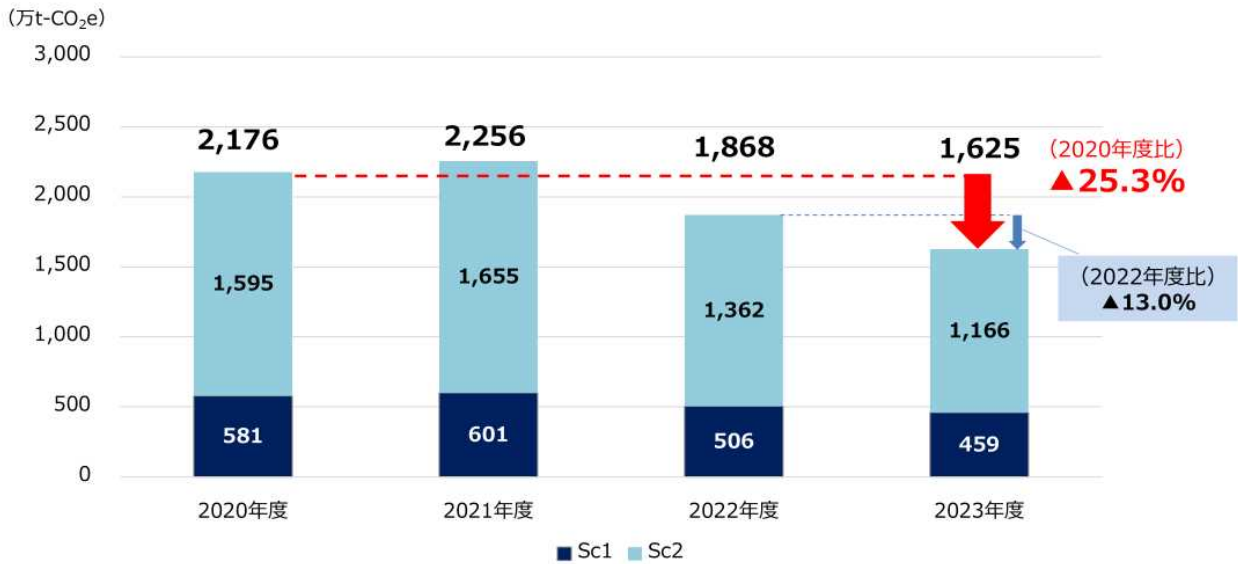
・パネラー(予定、順不同):

政策研究大学院大学 竹ヶ原 啓介氏、東京大学未来ビジョン研究センター 高村 ゆかり氏、
野村アセットマネジメント 大畠 彰雄氏、三菱 UFJ 信託銀行 加藤 正裕氏、
日刊工業新聞社 松木 喬氏、日本経済新聞社 京塚 環氏

→[JEMA-GX レポート 2024 報告会 開催案内サイトへ](#)

以 上

<p>本資料に関する弊社問合せ先 環境ビジネス部 TEL:03-3556-5883 Email:env_public*jema-net.or.jp *を@に変えて送信ください</p>



※ Scope1、2合計値の開示のみでScope1、2の内訳が不明の企業を除く。

図1 : GHG Scope1、2排出量の推移

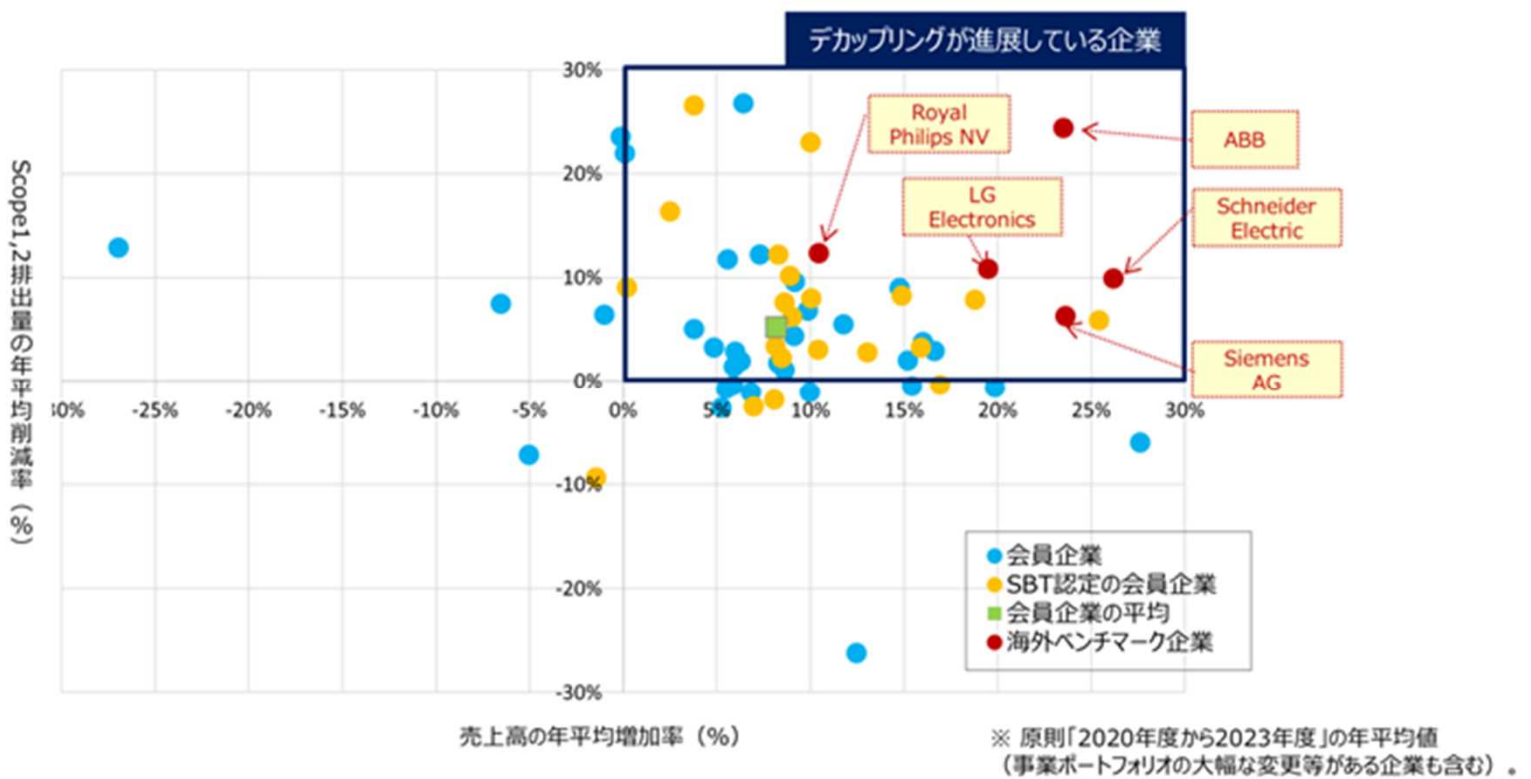


図2 : GHG Scope1、2排出量削減率／売上高増加率との相関

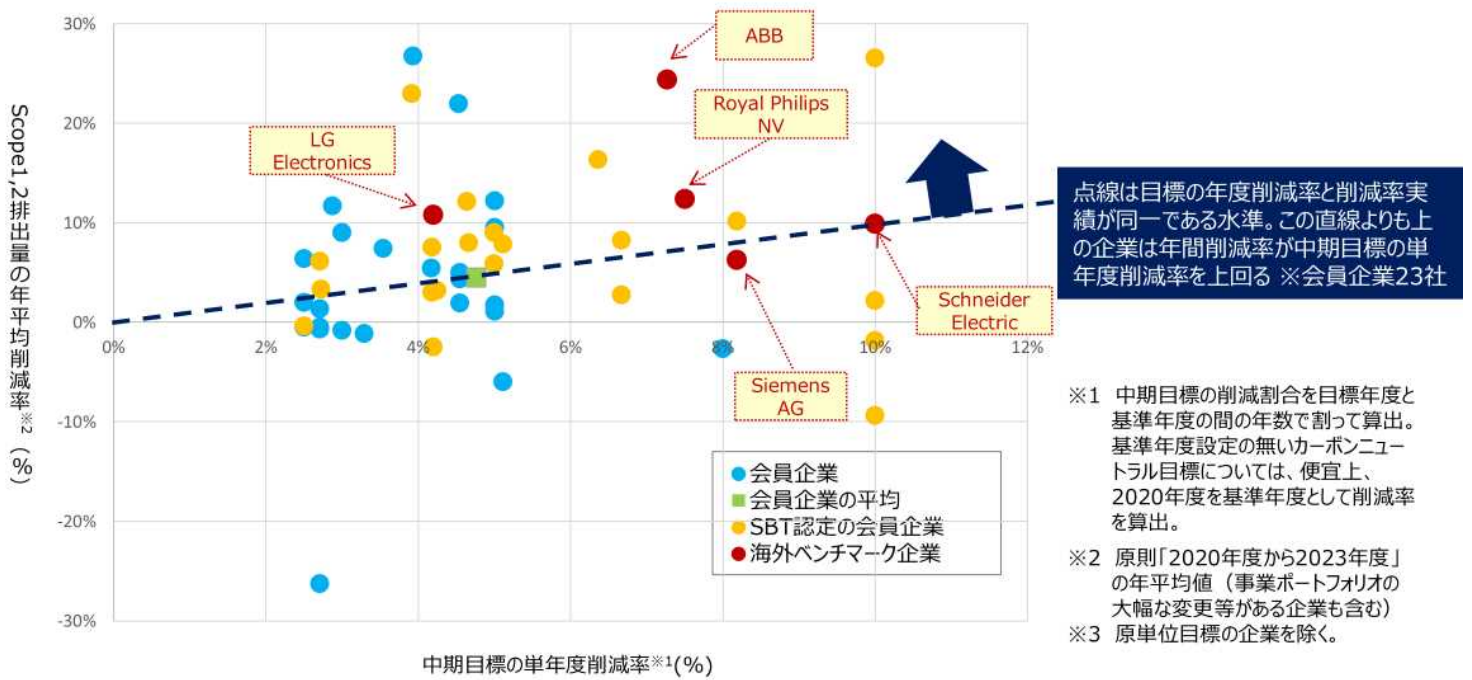


図3 : GHG Scope1、2排出量削減率／設定目標の年削減率との相関